



Low Cost-case 2

■T邸
・構造仕様/木造・2階建て
・延床面積/109.51㎡(約33坪) [地下+ロフト30.78㎡(約9坪)含まず]
■概算工事費(税別)
＜トータル＞
1,950万円(設計監理費用別注)
＜内訳＞
建築本体工事:1,310万円(造作家具含む、カーテン別注)
電気・暖房設備工事:240万円(照明、床暖房含む)
機械設備工事:350万円(屋外給排水含む)
外構工事:50万円

■建築データ
北海道札幌市・Tさん宅
家族構成/夫婦30代
＜主な外部仕上げ＞ 屋根/ガルバリウム鋼板フラットルーフ、外壁/ガルバリウム鋼板立平葺、建具/玄関ドア:アルミ断熱ドア、窓:樹脂サッシ(Low-Eペアガラス)
＜主な内部仕上げ＞ 床/構造用合板 水性ワックス塗、壁・天井/石膏ボードの上EP塗装
＜断熱仕様 充填断熱＞ 基礎/F/P断熱30mm、壁/ブローイング35kg100mm、屋根/ブローイング18kg300mm
＜暖房方式＞ 電気式床暖房・パネルヒーター
■工事期間
平成21年1月～4月(約3ヵ月)
■工事費用
約1,950万円

設計/(有)スタジオ・シンフォニカ 島中 秀幸
TEL 011-215-6400
http://www.sinfonica.co.jp
施工/松山建設(株)
011-784-8133



巧みな部材使いが光るシンプルCUBE
この住宅の設計では、「形態を極力シンプルにし、使用する素材を現しにすること」を将来の変化に対応するべく、フレキシブルな空間とすることが行われた。その解決策とされたのが、まず外壁から始が過ぎていくのを抑えるために、表面積をできるだけ小さくした「白い立方体」とすること。これにより、最小限の構造材で物理的な強度と安定を図ることができた。さらに、構造材としての集成材や床の構造用合板は、すべて現しにしているがこ

れはコストを抑えるためだけでなく、仕上げとしても実に美しい。
また、部屋数を確保するという従来の発想にとらわれず、大きな就寝スペースを設け、可動収納で仕切ることで、子どもたちの誕生など生活の変化にも対応。現時点で必要かどうか迷うものは極力つけないという発想は、むしろ住宅の機能性を高めている。加えて、一部には高品質の既製工業製品を採用し、低コストながら美しく仕上がっている。

「住む」「暮らす」をもっと楽しく心地よくするために

Replan

リプラン東北

vol. 27

2010 WINTER & SPRING

新築・リフォーム実例

特集 宮城の家

近未来を見すえて

これからの時代、もっと必要になってくる

リフォーム特集

リプラン的ローコストの考え方

420円